News Release

2026年11月25日

各位

株式会社イオレ

イオレ、NVIDIAのパートナー企業開発者を対象とした「Japan NPN Partner Agentic AI Hackathon」にGPU計算環境を提供

～ デジタルダイナミック、WOODMANとともにNVIDIA RTX PRO 6000 Blackwell Server Edition搭載サーバーを3ノード提供、国内GPUインフラで開発者を支援 ～

株式会社イオレ（本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO：瀧野 諭吾、以下「イオレ」）は、デジタルダイナミック株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：根来 実、以下「デジタルダイナミック」）およびWOODMAN株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：小野 慎二郎、以下「WOODMAN」）とともに、NVIDIAのパートナー企業開発者向けハッカソン「Japan NPN Partner Agentic AI Hackathon（開催期間：2026年10月19日～30日）」を共催しました。本ハッカソンでは、GPU計算環境を提供し、国内データセンターに設置した「NVIDIA RTX PRO 6000 Blackwell Server Edition」8枚搭載サーバー3ノード（GPU計24枚）を、参加者が即座に開発へ集中できるよう、リモートアクセス可能なVM（仮想マシン）環境として会期中に提供しました。



■ハッカソンへの協賛の背景

AI開発の現場では、高性能GPUをはじめとする計算資源の確保が大きな課題となっています。ア

イデアや技術があっても、十分な計算力を確保できず、開発を思うように進められない開発者は少なくありません。また、生成AIの社会実装が進み、企業が保有する機密情報や独自データをAI開発・学習・推論に活用する機会が増える中、計算資源をどこで確保し、データをどこで管理・処理するかという「データ主権」の観点からも、国内にAI計算基盤を整備する重要性が高まっています。

「Japan NPN Partner Agentic AI Hackathon」は、NVIDIAのパートナー企業開発者が約2週間にわたって実際にGPUを使い、開発するハッカソンイベントです。イオレ、デジタルダイナミック、WOODMANの3社は、AIインフラを担う企業として、参加チームが計算力の確保に悩むことなく開発そのものに集中できるよう、国内データセンターに配備したNVIDIA RTX PRO 6000 Blackwell Server Edition搭載サーバーを、リモートアクセス可能な計算環境として提供しました。イオレは本イベントにおいて計算環境の提供に向けた窓口および全体調整を、デジタルダイナミックはサーバーの設置・運用とVM環境の提供を、WOODMANは環境構築の技術支援を担いました。

AI開発の第一線で活躍する開発者に、3社にて構築するGPU計算基盤を実際の開発環境として活用いただくことで、多様なAI開発ニーズに対応する計算力提供を推進し、AI計算基盤の利用拡大とAI計算力提供事業の成長につなげてまいります。

■3社のAIインフラ構築に関する取り組み

生成AIの急速な普及により、AIの学習・推論に必要となる高性能GPUコンピューティングへの需要は世界的に拡大しています。それに伴い、高性能GPUを安定的に運用できるAIデータセンターの重要性も高まっており、日本国内でもAIインフラの整備が急速に進んでいます。

こうした中、3社はそれぞれの領域で連携しながらAIインフラの構築に取り組んでいます。イオレは2025年3月にAIデータセンター事業への参入を発表し、「NVIDIA L40S」や「NVIDIA RTX PRO 6000 Blackwell Server Edition」などを中心とするGPUサーバーの販売を軸に事業を展開してきました。デジタルダイナミックは2024年4月の設立以来、AIデータセンターの構築・運営を手がけ、イオレとともに推論向けGPUサーバーの運用・提供を推進しています。WOODMANは、AIデータセンターの開発・構築に加え、国内における用地確保や電力・ユーティリティに関する検討、関係各所との調整など、データセンターを支えるインフラ面を担っています。

3社は2026年1月30日、SuperX Industries株式会社を加えた4社で、AIインフラの安定供給および次世代型AIデータセンターの構築検討を目的とした戦略的提携に関する覚書を締結しました。学習・推論のいずれにも対応しうる「モジュラーAIファクトリー」構想の事業性検討を、4社で共同して進めています。

また、GPUサーバーの取り扱い規模や国内データセンターへの配備の拡大を受け、イオレはデジタルダイナミックとの連携を拡大し、計算資源を利用目的や契約形態に応じて柔軟に提供する「AI

計算力提供事業」を本格的に展開することを2026年9月に発表しました。2026年秋よりAI計算力提供サービスを順次開始しており、イオレは将来的に、GPU・データセンター・電力・冷却・ネットワーク・運用基盤を一体として提供するネオクラウド事業化を目指しています。

■ハッカソンの概要

名称：Japan NPN Partner Agentic AI Hackathon
共催：デジタルダイナミック、イオレ、マクニカ、NVIDIA、OpenACC organization、
WOODMAN (アルファベット順)
開催期間：2026年10月19日（月）～10月30日（金）
会場：マクニカ品川オフィス（初日・最終日のみオンサイト、その他の期間はリモート）

■ハッカソンの様子

【チーム名（企業名）】

- FIXER Agents（株式会社FIXER）
- SwitchOpt（合同会社デロイト トーマツ）
- TANE Penguins（株式会社マクニカ）
- Accenture Forge（アクセンチュア株式会社）
- Team CM-MBT（クラスメソッド株式会社）
- Agentic Ducks（日本IBM株式会社）
- Team TRAFEED（株式会社TIMEWELL）
- TCS AI lab（日本タタ・コンサルタンシー・サービシズ株式会社）

【10月30日の報告会の当日の様子】





会社名	デジタルダイナミック株式会社
本社所在地	〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目17-1 虎ノ門ヒルズビジネスタワー15階
代表者	代表取締役　根来 実
設立	2024年4月18日
資本金	1,000万円
事業内容	・データセンター運営 ・データセンター事業コンサルティング ・サーバー製造及び販売 ・販売／営業支援
URL	https://digital-dynamic.co.jp/

会社名	WOODMAN株式会社
本社所在地	東京都品川区東品川2丁目5番8号 天王洲パークサイドビル15階
代表者	代表取締役社長　小野慎二郎
設立	2017年10月6日
資本金	300万円
事業内容	AIサーバー・ストレージ販売・導入支援 【主な取り扱い製品カテゴリ】 ・GPUサーバー / ワークステーション ・ラックマウント / タワー型サーバー ・ 高速NVMe / 産業用SSD / 大容量HDD ・AI / シミュレーション向けハードウェア構成一式 ・モジュール型AIデータセンター開発・構築 ・データセンター事業コンサルティング
URL	https://woodman-jp.com/

会社名	株式会社イオレ
本社所在地	〒105-0003 東京都港区西新橋1-6-11 西新橋光和ビル 4F
代表者	代表取締役社長 兼 CEO　瀧野 諭吾
設立	2001年4月25日
資本金	32億3,253万円 ※2026年9月30日時点
従業員数	81名 ※2026年9月30日時点
上場市場	東京証券取引所グロース市場（証券コード：2334）

事業内容	・AIインフラストラクチャー事業 - GPUサーバー販売 - AIデータセンター開発・開発支援・投資 - ネオクラウド事業 ・AIUI事業 - HR Tech - Ad Tech - 次世代AIメディア など ・オンチェーン金融事業 - 暗号資産の保有、運用、決済サービス等の金融基盤提供
URL	https://www.eole.co.jp/

本件に関するお問合せ
株式会社イオレ　広報担当　Tel: 050-5799-9400／Mail:press@eole.co.jp

NVIDIA、NVIDIA RTX、Blackwellは、米国およびその他の国におけるNVIDIA Corporationの商標または登録商標です。他社登録商標・商標等、記載されている会社名、製品名は一般に各社の登録商標または商標です。